



町田市議会議員 岩瀬 雄二  
議会運営委員長  
企画総務常任委員長  
町田市倫理法人会相談役（前会長）

日頃の暖かいご支援を賜りました事を深く感謝申し上げます。2002年の新年が貴方様にとってご努力の叶う、素晴らしい良いお年になりますよう、お祈り申し上げます。

未来に向けて進展する小山町の姿の一部を、恒例のニュースとして後援会広報部と作成いたしました。小山町内の、防災対策上の生活環境改善や道路拡幅整備等、関係する地権者、及び関係者のご理解とご協力をいただき着々と計画の基に進めてまいりました。今後は更に新しい視点で未来を見直し、文化の漂う小山のまちづくりを進めなければなりません。特に、教育環境整備、小山の小・中学校の新設には一日も早い実現を図り、また「健康長寿のまちづくり町田」については地元の新たな要望を取りまとめ、事業が縮小されることのないよう、常に監視の目を光らせ、その推進を図ることこそ肝要であります。また、市政全般につきましても、市民福祉の向上を図り、行政全般の根幹を見直し行政改革を実現することこそ焦眉の急であります。

今後ともよろしくご指導賜りますよう、お願い申し上げます。末筆ですが、ご家族様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、市政報告にかえさせていただきます。

町田市の大会で優勝した小山ファイターズの皆さん。関東大会出場を市長に報告するため表敬訪問



#### 小山の道路整備

右の写真の工事が完成すると、その延長は6,400mになります。町田市内で、これだけ4.8m拡幅ができる地区は、小山町だけです。関係する皆様のご協力のお蔭です。感謝にたえません。私の当初計画より180%の達成率です。町づくりに理解いただき、誠にありがとうございました。

投稿した原稿の一部を紹介申し上げます。

昭和58年2月、京王相模原新線の橋本駅迄の延伸が議会に提示されましたが、小山には駅をつくるないという約束に反する説明がありました。（それでは以下、議場での質問の文章を引用致します）

折しも京王相模原新線の橋本駅迄の延伸が町田市議会に示されたのであります。が、小山には駅をつくるないという約束に反する説明があり、小山はただ通過するのみのこの説明には地元は大反発の運動を起こしました。

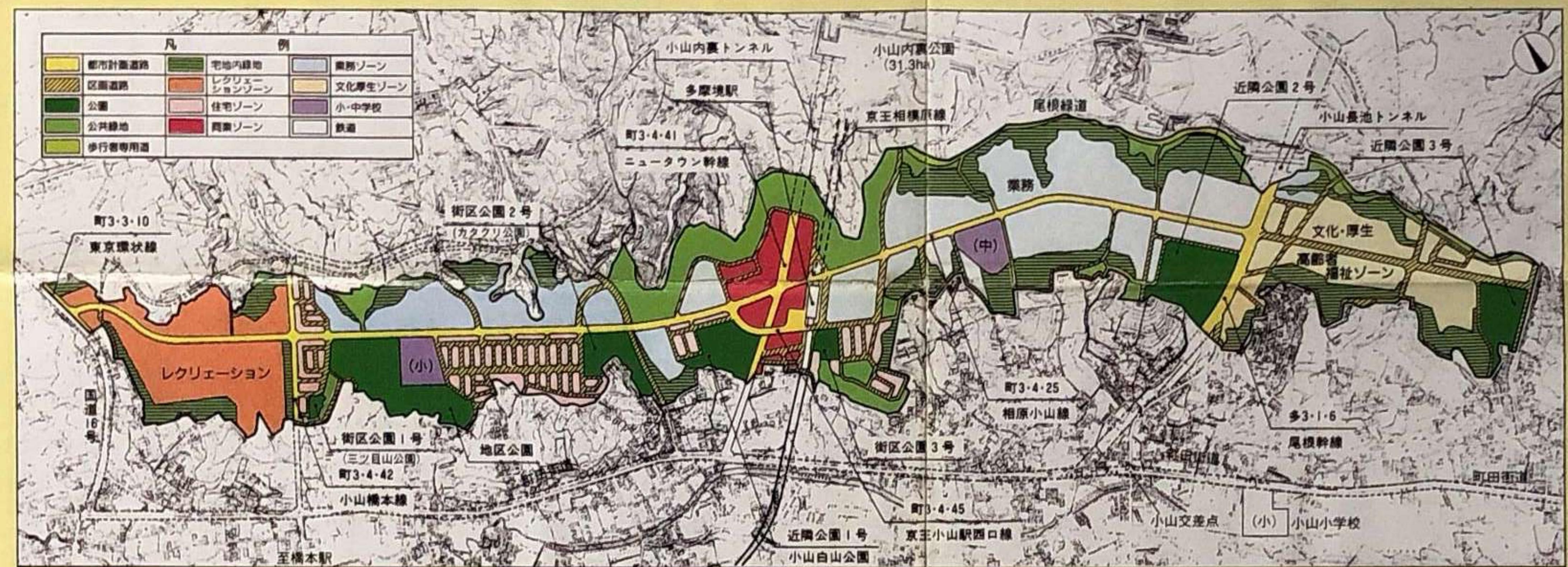
ニュータウン開発の鉄道延伸には三省協定の足かせがあったからでありますし、このことを機にして、それまで開発方針の定まらないこの小山の白地区と呼ばれた山半分を開発するには、いかなる方法をとるのか？地元で協議を重ねました。結果として、東京都主導による区画整理となりました。「地元が協力するならば」との条件付で、地主の皆さんを説得するのが私割でもあったのでした。都の企画室長氏より、「今年の9月10日までに地権者の了解が得られなければ、この事業は恐らく不調であります」と。10日までに地権者の了解が得られたら区画整理として前に進むのである」という責任を私には課せられておりました。わずか4ヶ月しかありません。50軒余りの地権者に必死の想いで説得の訪問を続けました。そして、その最終10日の日、首を縊っていただけない地権者、地主会の会長を車に乗せて副知事室に赴き、車中、最後の説得を試みた思いも今、こうして振り返ると、18年前のことであります。

期限迄に、地権者の了解を得られたその結果として翌年3月の当初予算に1億1千万円が、小山地区区画整理調整費として計上されたのでした。爾来、現在の大規模な開発が都主導で行われ多摩境駅も、お陰様で実現致しました。

駅近くには、大型スーパーも軒を並べて賑わい、この度町田市は中学校・小学校用地を購入し、やがて二つの学校が新設される事になりました。

# 小山の中学校用地・小山第二の小学校用地

## 12月議会補正予算に用地購入可決



小山小学校は、児童数800名になんとする市内最大のマンモス校である。

第二の中学校建設問題は教室の不足を予測して、一昨年来強く求めて来た。平成13年度で小学校用地購入は計画される事となった。

しかし中学校新設については立案されず、それどころか東京都に対して中学校用地は不要の意志を文書で提出している経緒があった。都に提出した文面の結びは、以下の通りである。

その結果、小学校につきましては、学校適正規模から建設の必要があるものの、中学校は既存の学校で充分対応ができることがわかりました。

従いまして、小学校用地は今後も確保をお願いいたしますが、中学校用地の確保が不要となります。

このことをご了承いただき今後、事業を推進されますようお願いいたします。

99町都区第151号の2 2000年1月31日 発行

東京都多摩都市整備本部南多摩整備事務所所長宛

町田市長

私はさる3月議会（H13年）で、小山中学校不要論を糾弾し、激しく教育委員会並

びに市長に対し、その撤回を求めた。

また都に対しては「15年来パンフレットに中学校用地と示しながら、市の意向とは云々用途を変更する事は欺瞞行為である。企業からの引き合い等に応じずに、あくまで中学校用地として温存願いたい。建設の必要性は、今迫りつつある」と要請を続けた。

市に対しての議会の追及では、「18年前地区住民5000名の署名を添えて、「小山に中学校建設を」の請願書を提出。市の回答書は「開発区域内に用地を確保して、条件が整い次第建設する」。この公的約束に反するではないか。小山地区中学生にいつまでバス通学を続けさせるのか。

さらに加えて、昭和20年代の6・3制の義務教育制度施行の際に、旧堺村では中学校の一校派、二校派に別れて対立し、7年余にわたるいさかいがあった。時に小山地区では協同作業と自費で会館を移築し、小山校舎を完成させた事等をどのように認識するのか」と歴史的事実を引用しながら追及した。まさに小山中学校の建設問題は半世紀にわたる50年来の宿願であったのである。

今ここに小山中学校新設実現は明確となった!!

# 着々と進む小山の生活環境整備

(防災対策上の道路拡幅改良事業)



① 宝泉寺横

水路改修とあわせて拡幅整備を行ないます。測量は完了、道路線型の作成中です。加えて第二期工事も進めることになっております。多摩境駅東口が近くになります。高町への迂回路整備は必須です。(225m)

② 片所（センター奥）

現況測量が完了。道路線型の作成中です。さらに二方向への拡幅が必要です。多摩境駅東口が近くになります。高町への迂回路整備は必須です。(90m)

③ みたけ堂三本杉

みたけ堂町内会では第八期の工事になります。更に片所町内に向けて迂回路が必要です。(230m)

④ みたけ堂会館奥

測量会社の破綻により一年工事延期です。小山中学校予定地に通する最短道路になります。(180m)

⑤ 沼東部

杉山栄様には土地の四面にわたる提供をお願いした次第です。有難い限りで感謝です。道路線型も一部修正、沼東部入口角と合わせて来年工事となります。(190m)

⑥ 沼団地

沼東部工事と連帶して工事が進められます。さらに住宅地西側の拡幅整備を進めます。(50m)

⑦ 上中村

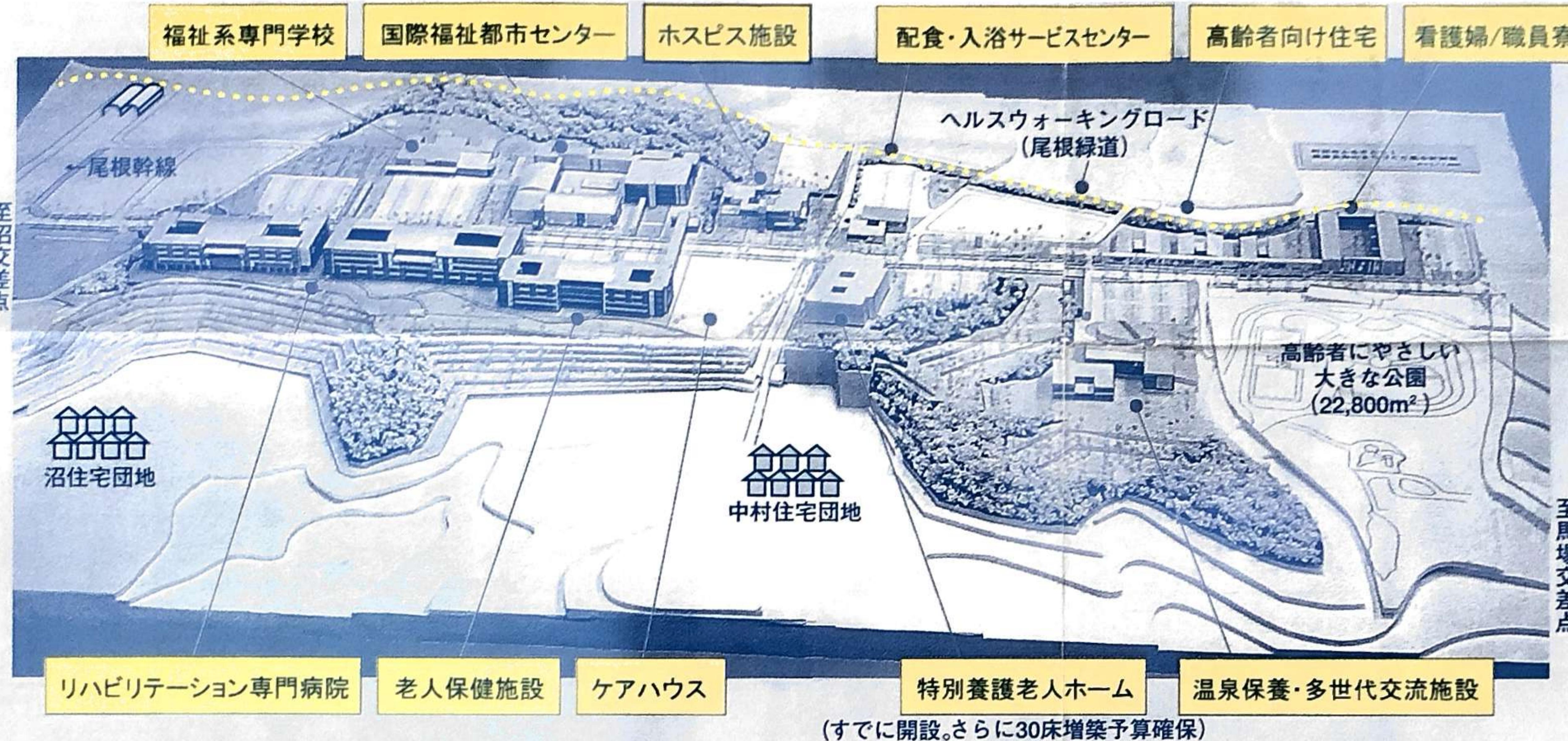
岡本芳己様の特段のご配慮により、道路敷でない山林地目を提供して頂き、道路拡幅を行なうものです。地域の環境改善のための、犠牲的の精神です。感謝で一杯です。(135m)

⑧ 下馬場

馬場町内会では、尾根緑道までのおよそ350mで第五期・六期に分けて拡幅整備を行ないます。第五期の区間は、ご理解とご協力が得られて、陳情書として去る9月に提出しました。(165m)

# 町田市高齢者福祉（健康長寿のまちづくり） 小山開発区域の東端に進行中

國際的福社都市  
町田



# 高齢者福祉の 施設を揃えよう

高齢者福祉について、計画策定の当時、老人会役員中心に「夢を語る会」を開催した。あれもこれもと意見百出、結論として「あらゆる施設を一ヶ所に集めて作るべし」であった。すなわち表現を変えれば、「医療・介護・福祉施設のすべてを集結し国際的福祉都市町田モデル」を求めていたのである。この事は、東京都に対し地元の意向として上申した。

今この尊い素朴な発想は、小山の町の丘の上に、全国的にも貴重な福祉ゾーンとして実現しようとしている。

この場所は広く相模平野を見渡し、遠く大山を眺める丹沢連峰、後方には富士のいただきが顔を出し、右方向には津久井城跡、さらには高尾国定公園の峰々までが視界の範疇にある。町田市内では絶妙の眺望権を有する場所である。

町田市は、東京都による構想を基にして「町田市ふるさと21健康長寿のまちづくり基本計画策定委員会」を設置し、具体的な規模・位置等詳細な計画を作成した。なお、小山開発の事業推進については、渋谷守生前都議会議長の多大なるご尽力があった。

### ■施設の計画概要（福祉ゾーンの総面積23.2ヘクタール）

(◆は町田市がさらに加えた施設 ( ) 内は計画される延床面積)

◆国際福祉都市センター [8,400m<sup>2</sup>]  
高齢者福祉・介護施設による国際交流拠点

高齢者福祉先進諸国との国際交流を図り、町田市の福祉情報の発進地をめざす。  
△**福祉五輪学校** [2,300円]

◆福祉系専門学校 [2,300m<sup>2</sup>]  
福祉系専科・看護科・高齢者福祉社会事業科

福祉系資格者を養成し、高齢者福祉社会充実の将来的基盤とする。

アリバビリテーション専門病院（15,000m<sup>2</sup>）  
健康回復の医療を施し、積極的に地域医療と連携して活動する病院です。

健康回復の医療を施し、積極的に地域医療との連携を図ること

- ▶ **在宅総合ケアセンター** [2,300m<sup>2</sup>] 在宅で介護をする方々を対象にしながら、総合的な福祉サポートを受けられる窓口とする。
  - ▶ **老人保健施設** 別名「中間施設」とも呼ばれ、退院後の看護・介護等、生活面のサポートをする入院施設である。
  - ▶ **ホスピス施設** [2,300m<sup>2</sup>] 緩和ケア病棟で、全国でもまだ数少ない稀な施設である。
  - ▶ **温泉保養・多世代交流施設** [15,000m<sup>2</sup>] 地域の方々が体力増進・心身の保養・健康維持・あわせて学習教室も多数設置し南面のパノラマと眺望を、そして緑を満喫できる多世代交流開放施設とする。
  - ▶ **特別養護老人ホーム** [2,300m<sup>2</sup>] 昨年いち早く、“美郷”が開設されたが待機者も多く、13年度で30床増床の予算を確保、14年工事着手。
  - ▶ **看護婦（士）職員の寮施設** [8,400m<sup>2</sup>] 病院・専門学校他諸施設に勤務する職員等の家族者用・単身者用の寮を確保する
  - ▶ **高齢者向け住宅** [8,400m<sup>2</sup>] 多機能を有するモデル的な住宅とし、ケア及び交流を重視した構造の建物とする
  - ▶ **ケアハウス** [15,000m<sup>2</sup>] 要支援高齢者が各種生活サポートを受けながら、自立生活できる賃貸住宅タイプの施設で、今後の課題とされていた。
  - ▶ **配食・入浴サービスセンター** [2,300m<sup>2</sup>] 現在、特養ホーム“美郷”でそのサービスを行なっている。
  - ▶ **ヘルスウォーキングモデルロード** [約3km] 現在は東方向の小山田老人福祉センターまでの3kmであるが、近い将来西方向の尾根緑道にも、公園としてのウォーキングロードが3kmにわたる田端堀までがモデルロードとして計画されている。〔計6km〕 将来的には、大地沢青少年センターまでの15kmを延長したいものである。
  - ▶ **高齢者にやさしい公園** [22,800m<sup>2</sup>] 東側隣接地には、高齢者にやさしい大型公園が設置され、現在造成中である

# 岩瀬雄二の体力測定

平均36.4才 マサカア~

- 10月7日(日)小山小学校では、第31回小山地区体育祭が開催されていた。会場の奥には、体育測定コーナーがあり、そこに今、喚声があがっている。
  - 「44～、45～オ、46～ウ、今日の新記録～ウ」さらに「60～ウ、61～イ」検査員の声はここで止まつた。息をこらえて何秒耐えられるかのテストを、地元選出の岩瀬雄二市議会議員が受けていた風景である。
  - さらに＜上体起こし＞の“起き上がり小法師”では、30秒間に33回の新記録ッ！この時も周囲の皆さんがあわてて手拍子を加えてリズムに乗っていた。
  - その他の測定も極めて快調にこなし、体力測定値平均年齢は“36.4才”となつた。またもや大拍手と喚声。この日の話題の種となつた。尚、体脂肪測定値も「16.1」の標準値で…。そういうえは、太っていない、スリムだ。

小山連合町内会体育祭体力測定表				
沼田町内会		氏名 吉敷雄二 年齢 38才		
順位	種目	記録	得点	体力等級
1	持久力（走ごらえ）	60' △	5	17
2	平衡感（跳箱片足立）	12' □	2	45
3	筋肉強度（バーピーチスト）	85' □	2	80
4	握力（立幅握り）	170 cm	0.5	15
5	筋力（上体屈曲）	75' □	5	19
6	柔軟性（上体屈曲）	8 cm	3.5	30
7	筋力測定	130 kg	2.5	47
8	体脂肪測定	16.1		

**平均36.4才  
体脂肪率16.1 (極めて標準)**

## 健康に留意している事柄は？

1. 海鮮菜食、腹八分
  2. 鐵砲習慣、就寢前
  3. 明朗闊達、未來志向



高校時代校内弁論大会で優勝。県大会に出場。10名中2名の弁護士が現在都内で活躍。